

2007 年 CNR・ICN 学術集会

最前線の看護者たち:予期せぬ事態に立ち向かう

2007.5.27(日)~6.1(金) 南 裕子(ICN 会長)



国際看護師協会(ICN)学術集会ならびに会員協会代表者会議(CNR)が、5月27日から6月1日までパシフィコ横浜で開催されます。27~29日は代表者会議、29日夜に開会式、30日~6月1日が学術集会です。5000人以上の参加が見込まれ、すでに海外から1200人を超す登録があります。世界の看護界の現状や将来の見通しについて知る最大のイベントです。

■テーマは? 看護者は、予測不可能な変化や未経験の事態に絶えず直面しています。複雑な労働環境、日々変化する医療の優先順位、強力な影響力をもつ社会的経済的要因といった現状に対し、看護者は創造的かつ効果的な問題解決スキルを日常業務のなかで駆使しています。このような看護実践の現実を明らかにすること、予期せぬ事態に立ち向かう看護師の専門知識を自ら認識することが今回のテーマです。

■みどころは? CNRは、看護師不足や労働環境の改善など、世界の看護界が直面する課題について議論し、ICNとしての未来の見通しなどを審議する場です(学術集会参加者は傍聴が可能)。開会式では世界の看護者が一堂に集い、正装した各国の代表のマーチングをはじめ、華やかな催しが計画されています。学術集会では、大規模災害や感染症など保健医療福祉機関の危機管理、労働環境問題、看護教育の動向、現場と教育のギャップ、免許制度や看護体制の課題など、看護管理を担当する方々にとっても重要な示唆が得られるプログラムが盛りだくさんです。『ポジティブな職場の創造』の著者ジョー・マニオン氏など、世界で最も先駆的なリーダーによる基調講演や発表もあります。

また、30年前の東京大会でスタートした学生大会が、今後は2年ごとに開催されることになり、その再出発点として学生ネットワークを立ち上げるプログラムも企画しています。その他、スペシャリスト、研究者、労働環境問題専門家、免許などの制度管理者、災害対応などの

ネットワーク会議が開催されます。

世界の看護者たちは日本の看護者との交流を求めています。皆様の温かいホスピタリティでICN関連行事をさらに盛り上げましょう。

2007年 CNR・ICN学術集会

テーマ 「最前線の看護者たち:予期せぬ事態に立ち向かう」
Nurses at the Forefront: Dealing with the Unexpected

主催: 国際看護師協会 (ICN)
共催: (社)日本看護協会 (JNA)

後援: 厚生労働省 文部科学省 総務省(内閣府) 横浜市長官公署 (財)日本看護協会
(社)日本看護協会 日本看護協会 日本看護協会 日本看護協会 日本看護協会
(財)日本看護協会 日本看護協会 (財)日本看護協会 日本看護協会 日本看護協会

特別協賛: YERUNG TUKA B&B BANYU

問い合わせ先: (社)日本看護協会 国際部
TEL 03-5779-6050
URL <http://www.nurse.or.jp/nursing/icn2007/index.html>

主なプログラム(詳細は次頁!)

5月30日(水)

- 基調講演
- パンデミック:鳥インフルエンザ・SARS
- 災害から得た教訓
- ディベート:意見を述べやすい環境
- 迅速な初期対応
- 学生ネットワーク
- マラリアプロジェクト
- 職場内暴力プロジェクト

5月31日(木)

- 積極的な臨床実践を可能にする環境 Jo Manion
- 日本の医療制度
- 人材確保計画
- ワクチン
- HIV
- 災害時:個人レベルの対応

6月1日(金)

- 倫理的なグローバリゼーション
- 看護師の国家間移動 Nelson Bascombe(バミューダ保健大臣)
- 看護師の人員配置
- 看護と助産の強化 Muna Al-Hussein(ヨルダン皇女)講演
- 地域看護:メンタルヘルスケア

■会場 パシフィコ横浜

